

(別紙様式)

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔 宮崎県 〕

1 拠点校及び連携校

区 分	学 校 名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	日向市立財光寺中学校	13（1）	414
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	日向市立財光寺小学校	16（1）	447
	日向市立財光寺南小学校	17（2）	456
		（ ）	
		（ ）	

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

2 意識調査(アンケート共通項目)※集計結果を%で示す。(％は小数第2位を四捨五入) (%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	409	66.5	26.7	5.9	1.0	73.8	20.5	4.4	1.2	33.4	51.8	13.8	1.0	24.7	55.5	17.1	2.7
		前年②	408	61.8	27.0	7.6	3.7	73.2	18.0	6.2	2.7	33.2	50.4	14.5	2.0	25.6	50.6	19.4	4.4
		本年①	409	65.0	27.1	5.9	2.0	68.9	24.0	5.1	2.0	40.6	45.5	12.7	1.2	34.5	50.9	12.0	2.7
	3	中2①	158	67.7	25.3	5.1	1.9	72.8	20.9	5.1	1.3	31.6	51.9	15.2	1.3	22.8	57.0	16.5	3.8
		中2②	157	60.5	28.0	8.3	3.2	71.3	21.0	5.1	2.5	30.6	52.2	14.6	2.5	25.5	46.5	19.7	8.3
		中3①	157	58.6	31.2	8.9	1.3	65.0	29.3	3.8	1.9	39.5	45.9	13.4	1.3	26.8	54.8	14.0	4.5
	2	中1①	129	65.1	27.1	7.0	0.8	76.0	19.4	3.9	0.8	33.9	48.8	16.5	0.8	34.9	48.8	14.7	1.6
		中1②	128	59.4	27.3	6.3	7.0	68.5	16.5	11.0	3.9	27.3	51.6	18.8	2.3	25.0	48.4	23.4	3.1
		中2①	127	58.3	32.3	5.5	3.9	66.1	22.8	9.4	1.6	31.5	49.6	16.5	2.4	23.6	59.1	15.7	1.6
	1	小6①	137	54.7	38.7	5.8	0.7	69.1	25.7	2.9	2.2	35.3	47.8	14.0	2.9	53.7	36.0	7.4	2.9
		小6②	140	66.4	27.9	4.3	1.4	73.6	20.7	4.3	1.4	48.6	41.4	9.3	0.7	52.9	40.0	6.4	0.7
		中1①	125	80.0	16.8	2.4	0.8	76.8	18.4	2.4	2.4	51.2	40.8	8.0	0.0	55.2	37.6	5.6	1.6
小学校	高学年計	前年①	281	49.8	40.2	7.5	2.5	71.4	20.7	4.3	3.6	30.1	48.4	17.2	4.3	41.8	44.6	10.4	3.2
		前年②	283	59.4	29.3	7.8	3.5	67.5	22.3	7.4	2.8	39.2	44.9	12.0	3.9	46.3	43.5	6.7	3.5
		本年①	314	58.9	31.2	6.7	3.2	64.0	30.6	4.1	1.3	41.7	47.8	9.2	1.3	51.9	39.8	6.7	1.6
	6	小5①	144	45.1	41.7	9.0	4.2	73.6	16.0	5.6	4.9	25.2	49.0	20.3	5.6	30.6	52.8	13.2	3.5
		小5②	143	52.4	30.8	11.2	5.6	61.5	23.8	10.5	4.2	30.1	48.3	14.7	7.0	39.9	46.9	7.0	6.3
		小6①	143	56.6	35.0	4.9	3.5	58.7	34.3	4.9	2.1	32.2	57.3	8.4	2.1	48.3	46.2	4.2	1.4
	5	小5①	171	60.8	28.1	8.2	2.9	68.4	27.5	3.5	0.6	49.7	39.8	9.9	0.6	55.0	34.5	8.8	1.8

学校種	学年等	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押ししたりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	409	88.8	8.1	1.0	2.2	88.8	6.6	1.7	2.9	88.5	8.1	2.0	1.5	90.7	6.6	1.5	1.2
	3年	157	90.4	5.7	0.6	3.2	90.4	5.7	0.6	3.2	90.4	5.7	1.9	1.9	93.6	4.5	0.0	1.9
	2年	127	81.9	14.2	0.8	3.1	85.8	8.7	2.4	3.1	82.7	14.2	1.6	1.6	86.6	8.7	3.1	1.6
	1年	125	93.6	4.8	1.6	0.0	89.6	5.6	2.4	2.4	92.0	4.8	2.4	0.8	91.2	7.2	1.6	0.0
小学校	高学年計	314	78.7	15.6	3.8	1.9	72.6	16.9	5.4	5.1	83.8	13.4	1.9	1.0	82.2	15.0	2.2	0.6
	6年	143	76.9	18.9	2.8	1.4	72.0	16.1	3.5	8.4	78.3	19.6	1.4	0.7	77.6	18.9	2.1	1.4
	5年	171	80.1	12.9	4.7	2.3	73.1	17.5	7.0	2.3	88.3	8.2	2.3	1.2	86.0	11.7	2.3	0.0

※小学校は連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

3 課題・目標・取組

課題	「自己肯定感が低い」「人間関係づくりが苦手」「夢や希望がもてない」など、これらを改善するための教育活動が必要である。
目標	自分や仲間によさを感じながら、互いによりよく伸びようとする児童生徒を育成する。
取組	「わかる授業の充実」「児童生徒が主役となる活動の充実」「地域と連携した児童生徒の育成」の取組を推進する。

4 意識調査結果の分析

(1) 好ましいと思われる事項

小・中共通	「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」に対して、肯定的に答えている割合が全学年85%を超えている。 「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業に主体的に取り組んでいる」「授業がよくわかる」に対して、肯定的に答えている割合が昨年の12月より増加している。
中学校	「授業がよくわかる」に対して、肯定的に答えている割合が昨年の4月より5.2%上昇している。
小学校	「授業に主体的に取り組んでいる」に対して、肯定的に答えている割合が昨年の4月より11%上昇している。どの項目も90%程度の児童が肯定的に答えている。

(2) 好ましくないと思われる事項

小・中共通	「授業に主体的に取り組んでいる」に対して、否定的に答えている割合が小・中学校とも10%以上ある。
中学校	「授業がよくわかる」に対して、肯定的に答えている割合が第2・3学年で目標としている85%以上に達していない。
小学校	「学校が楽しい」に対して、第5学年で小学校間の数値に開きが見られた。

5 取組事項

小・中共通	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実 ② 豊かな人間関係を育む積極的な生徒指導の推進 ③ 学校と家庭・地域が子どもを支え合う地域に根ざした学校づくり
中学校	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実 ② 豊かな人間関係を育む積極的な生徒指導の推進
小学校	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実

6 取組内容

(1) 事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	小・中共通実践のための校内研修	○	第1回小・中連絡協議会(小・中) 小・中共通実践のための校内研修 第1回連絡協議会(東京) 拠点校・連携校の校長、担当者、及び市教委担当者打合せ会(小・中)	○ ○ ○ ○
5月	第3回意識調査及びアンケート調査(全小)	○	第3回意識調査及びアンケート調査(集計・分析) 第2回小・中連絡協議会(小・中) 心を育む講演会(全学年) 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中)	○ ○ △ ○
6月	校内授業研究会	○	第1回小中合同研修会(小・中) 第3回小・中連絡協議会(小・中) 市教育委員会訪問 地区実践会議総会	○ ○ △ ○
7月	県教育委員会生徒指導訪問(連携校2校)	△	県教育委員会生徒指導訪問 第4回小・中連絡協議会(小・中)	△ ○
8月			第2回小中合同研修会(小・中) 第5回小・中連絡協議会(小・中) 財光寺中オープンスクール【小中合同】	○ ○ ○
9月	5年生交流会		第6回小・中連絡協議会(小・中)	
10月	校内授業研究会 集団宿泊学習(全小5年生) 6年生交流会(陸上)(全小6年生) 学校訪問(財光寺小:予定)		第7回小・中連絡協議会(小・中)	

11月	陸上大会	第8回小・中連絡協議会（小・中） 第3回小中合同研修会（小・中） 地区実践会議「クリーン作戦」（小・中）
12月	第4回意識調査及びアンケート調査（全小）	第4回意識調査及びアンケート調査（集計・分析） 第9回小・中連絡協議会（小・中）
1月	校内授業研究会	新入生説明会 第10回小・中連絡協議会（小・中） 第4回魅力ある学校づくり調査研究委員会（小・中）
2月	地区実践会議「児童生徒意見発表会」	第4回小中合同研修会（小・中） 第11回小・中連絡協議会（小・中） 研究のまとめ 報告書の作成 第2回連絡協議会（東京） 地区実践会議「児童生徒意見発表会」
3月		第12回小・中連絡協議会（小・中）

（2）8月末までに実施した具体的な取組

〔小・中共通〕

① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実

○ 小中合同研修会の実施

6月12日と8月7日に小中合同研修会を実施した。6月の研修会では、清掃参観・授業参観・部会・全体会を行った。部会では、学習指導部・生徒指導部・保健体育部の3つの部会で話し合いを行った。



さらに、8月に行った研修会では、各部会と教科部会に分かれて、9年間を見通した一貫性のある継続的な教科指導や生徒指導等を実践するため、より望ましい連携について3校で共通理解を図った。

○ 兼務発令による連携体制の推進

日向市では、小中一貫教育として、「英会話科」の授業を小中学校で実施している。その中で、小学校の英会話科は、中学校の教員が兼務発令を受け、小学校の学級担任と連携して、週に1時間ずつ授業を行っている。中学校の教員が専門性を生かして小学校の授業に参加することで、中学校での授業の雰囲気や英語の楽しさを感じ取ることができ、小中学校間のスムーズな接続につながっている。

○ 財光寺中学校オープンスクールの開催

8月20日に財光寺中学校において、校区内の小学6年生を対象にオープンスクールを実施した。夢や希望をもって中学校に入学してほしいという願いから企画した。生徒会役員による学校紹介や、部活動キャプテ



ンによる部活動紹介など生徒主体の活動にした。また、英語の体験授業を行い、2校の児童が授業を通して交流する場にもなった。オープンスクール後のアンケートでは、「中学校に入学するのが楽しみになった」「早く部活動に入りたい」という感想があった。また、「他の小学校の生徒と話せた」という小・小連携のよい機会にもなっていた。

② 豊かな人間関係を育む積極的な生徒指導の推進

○ 無言清掃の取組

清掃の時間を通して、学習や生活の環境を整えるとともに、心を磨き、自己の向上に努める児童生徒を育成することをねらいとして、無言清掃に取り組んできた。3校共通の取組としては、チャイム前に廊下に整列し、チャイムで黙想をし、床をコの字で拭いていくことを実践している。小中合同研修会を通じて清掃手順や指導方法を3校で確認し、無言清掃の共通実践を図っている。無言清掃が3校の児童生徒の自慢であり、この取組が日向市全体の活動になった。

○ あいさつ運動の取組

豊かな人間関係を育む3校の共通実践事項としては「立ち止まって目を見てあいさつすること」にしている。中学校では、毎朝、教師・保護者・生徒が校門前に立ち、あいさつ運動を行っている。小学校では、生活委員会の児童と教師等が校門に立ち、登校班ごとに整列して朝のあいさつを行っている。

③ 学校と家庭・地域が子どもを支え合う地域に根ざした学校づくり

○ P T A子ども相撲大会

7月28日(日)に財光寺南小相撲場にて「P T A子ども相撲大会」を開催した。この大会は、今年度で22回を数え、P T Aにとっても児童にとっても夏の恒例行事となっている。地区の育成会ごとに団体戦に11チーム、学年別の個人戦に101名の児童が参加し熱戦を繰り広げた。肌と肌が触れあったり、相手の息づかいを間近に感じたり、相手に付いた土を払ってあげたりなど、相手を思いやる姿が数多く見られた。また、準備や運営などP T Aと学校職員、地域の方々が協力して取り組んだ大会であった。(財光寺南小)

○ 松葉かき清掃

7月14日に、松葉かき清掃ボランティア活動を実施した。約70名の生徒が自主的に参加し、松の緑を守る会の方々と協力して、松の葉やごみを集めるなどの清掃活動を行った。(財光寺中)

〔中学校〕

① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実

○ わかる授業の充実

生徒一人一人が「わかる喜び」や「できる喜び」を味わい、学ぶことが実感できる授業を目指している。そのために「きめ細かな指導」について各教科・学年で協議し、全員が研究授業を行いながら授業改善に取り組んでいる。また、学力向上対策プランを作成し、「具体的目標」「具体的方策」「数値目標」を立てて、各教科で実践している。

○ キャリア教育の推進

7月1日に、4校の高等学校の先生方を招いて、3年生の進路学習を行った。受講した生徒は、「機械科の授業を体験しました。ハンマーで金属に刻印を行いました。普段やることがないので貴重な体験となりました」というような感想を書いていた。



7月2日には、イラストレーター上杉忠弘さんに来校していただき、「イラストレーターという仕事」について、講話をしていただいた。「中学校時代からイラストレーターになることを決心していた」「夢に向かって自分の限界までとことん挑戦してください」など夢をもって生活していくことの大事さを考えさせられた。



② 豊かな人間関係を育む積極的な生徒指導の推進

○ 自主的な生徒会活動の推進

本年度、本校の生徒会は「自主創造」をスローガンに掲げ、「仲間と共に誇れる学校」作りを進めている。これまで創り上げてきた伝統を土台とし、新たな伝統を築こうとしている。生徒集会では、生徒の自主性を伸ばすために、生徒が企画・立案をし、担当職員との綿密な計画のもと、リハーサルを行いながら自主的な運営を行っている。



○ 花いっぱい・優しさいっぱい活動の充実

生徒会・環境福祉委員会が中心となり、生徒一人一人が種から花を育てる活動を通して、「優しさ」を育んでいこうという取組を進めている。生徒全員で、ポットに種を植え、成長した後に学級花壇に移し替える作業を行った。きれいな花を咲かせることができ、楽しそうに作業に取り組む、生徒の姿が見られた。



〔小学校〕

① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実

○ わかる授業の推進

児童が主体的に授業に取り組み、「わかる」と感じ取ることができるように、1月よりICT機器を活用した授業を全校で取り組むことにした。さらに、本年度4月より、「ICTを活用した授業の工夫改善」を主題研究のテーマとした。授業の中で、友達と協働して学習する場やICTを効果的に活用する場を設定することを通して、「わかる」授業を推進している。 (財光寺小)

○ 学び合う授業づくり

主題研究の研究内容の一つに、「学び合う授業づくり」を入れている。学習指導過程の中に必ず、個人思考の時間と少人数での話し合い、全体での練り合いを位置付けている。個人思考の段階では教材文に書き込みをするなど、他者との学び合いに備えるための自分自身の考えをもたせる。少人数での話し合いでは、ペア学習や

グループ学習を積極的に取り入れ、相手の意見に対して否定はせず、相づちを打って意見を聞くようにする。全体での練り合いにおいては、教師がコーディネーターとなって、学習課題（めあて）にそった意見を練り上げていく。最後に、もう一度個人に返し、話し合いを受けての自分の考えをまとめる。（財光寺南小）

7 8月末までの取組状況と課題（第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む）

（1）順調に進んでいる事項

小・中共通	② 豊かな人間関係を育む積極的な生徒指導の推進 ・ 「立ち止まって目を見てあいさつ」や「無言清掃」の共通した取り組みができています。
中学校	② 豊かな人間関係を育む積極的な生徒指導の推進 ・ 生徒集会や花いっぱい・優しさいっぱい活動などを通して自己肯定感が高まっている。生徒会役員による清掃集会や生徒指導集会でのあいさつの仕方の話、保護者によるあいさつ運動などの取り組みができています。
小学校	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実 ・ ペア学習やグループ学習など積極的に友達と関わり、自分の考えを交流しようとする姿が見られるようになった。

（2）課題となっている事項

小・中共通	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実 ・ 「ピン・ペタ・グー」やペア学習など、わかる授業をより高める。 ③ 学校と家庭・地域が子どもを支え合う地域に根ざした学校づくり ・ 地域の方と小中学生が協力したボランティア活動ができていない。
中学校	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実 ・ 個に応じた指導やキャリア教育を充実させ学ぶ意欲を高める。
小学校	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実 ・ 児童それぞれの考えを練り上げていくための視点や教師のかかわりの研究を深める必要がある。

8 9月以降の重点推進事項

小・中共通	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実 ・ 係活動による学習姿勢の啓発や、共通実践事項を推進する。 ③ 学校と家庭・地域が子どもを支え合う地域に根ざした学校づくり ・ 地域と連携した体験活動やボランティア活動を推進する。
中学校	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実 ・ 校内での研究授業や地域人材を活用した講話などを通して、学習や職業に対する関心を高める。
小学校	① 学び合うことやわかる楽しさが実感できる授業の充実 ・ 基礎・基本のさらなる徹底を図るとともに、個に応じた支援を充実させる。

9 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・ 財光寺中学校区における取組の成果を、市内全ての小中学校へ波及させ、日向市の児童生徒の不登校等の未然防止を図る。
- ・ 今後、財光寺中学校区の取組が継続するよう、地域住民や関係者等による推進体制の確立や生徒会の活性化を推進する。

〔成果と課題〕

- 「わかる授業」「心を磨く無言清掃やあいさつ」「地域と連携した取組」等の充実が図られ、児童生徒が自信等をもって各学校で学んだり生活したりすることができている。
- 市内全ての学校職員に「心を磨く無言清掃」の取組についてのアンケートをおこなったところ、98.5%が「無言清掃の効果があった。」、99.2%が「今後も市内全域で無言清掃に取り組むべきだ。」と答えていることから、財光寺中学校区の取組が広がり、市内全域で成果が表れ始めている。
- 前年度に成果発表会をおこなったことで事業の推進を加速しておこなうことができたが、本年度の実践の成果を発表できていないので、市教委や県教委主催の協議会等で啓発していく必要がある。
- 「わかる授業」をより充実させるために、授業研究会等の在り方や実践の検証をおこなう必要がある。
- 本年度より実施している「生徒会活性化事業（市事業）」の充実を図るため、魅力ある学校づくり調査研究事業の成果を生かしていく必要がある。

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・ 小学校・中学校・高等学校生徒指導等連絡協議会における事業成果の啓発
- ・ 財光寺中学校区の合同研修会における指導・助言

〔成果と課題〕

- 学校訪問や調査研究委員会において、事業の進捗状況を確認するとともに、市教育委員会と連携を図りながら事業を推進してきたことにより、事業の趣旨に沿った取組が進められ、学校全体に落ち着いた雰囲気が見られるようになるとともに、不登校数が減少するなどの成果が得られた。
- 分かる授業づくりを推進していくために、小・中学校共通のテーマを確認するとともに、学校種や教科の枠を超えた授業研修を支援していく。

10 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

【問い合わせ先】

所属	宮崎県教育委員会学校政策課		電話	0985-26-7238	
職名	指導主事	氏名	竹之内 一彦	よみがな	たけのうちかずひこ